

# Economic Indicators

定例経済指標レポート

テーマ：景気動向指数（2017年4月）の予測

発表日：2017年6月1日（木）

～C I一致指数は大幅に上昇～

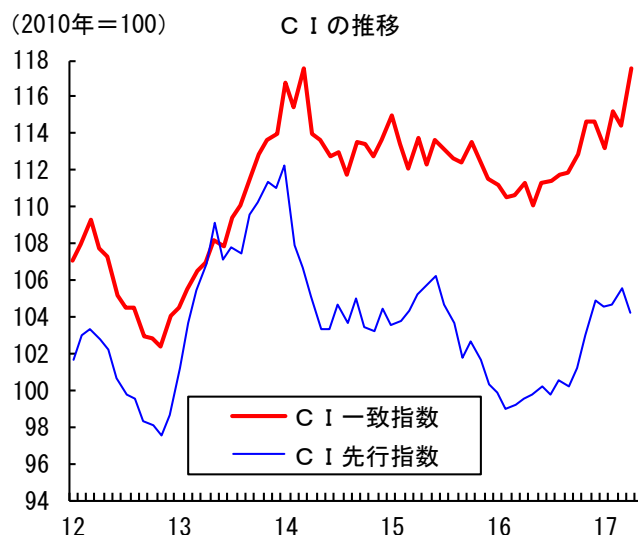
第一生命経済研究所 経済調査部  
担当 主席エコノミスト 新家 義貴  
TEL:03-5221-4528

内閣府から6月7日に公表される2017年4月の景気動向指数では、C I一致指数が前月差+3.1ポイントの大幅な上昇になると予想する。内訳では、鉱工業生産指数や生産財出荷指数、耐久消費財出荷指数、投資財出荷指数などの生産・出荷関連系列の押し上げが目立つ。

1月のC Iは前月差▲1.4ポイント、2月は+2.0ポイント、3月は▲0.8ポイント、4月は+3.1ポイント（予想）と、このところ非常に振れが大きい。①中華圏の春節の影響で輸出が攪乱されたこと、②ゴールデンウィークの影響で4～5月の季節調整が上手くかかっていない可能性があること、などから鉱工業生産指数が大きく振れており、その影響でC I一致指数も変動が大きくなっている。生産予測指数から推測すると、C I一致指数は5月に再び低下、6月は持ち直しになるとみられ、振れの大きい展開はまだ続きそうだ。ただ、こうした振れを均してみると、C I一致指数は着実な上昇傾向にあることは疑いない。輸出の増加を主因として、景気は好調さを保っている。

また、4月のC I先行指数は前月差▲1.2ポイントを予想する。生産財在庫率指数や消費者態度指数が押し下げに寄与する見込みである。

内閣府によるC I一致指数の基調判断は、7ヶ月連続で「改善」が予想され、景気が回復傾向を続けていることが示されるだろう。先行きについても、輸出の増加が続く可能性が高いこと、経済対策効果の顕在化から公共投資が増加すること、企業収益の増加を受けて設備投資が回復することなどを背景に、景気は今後とも着実な回復傾向を続ける可能性が高い。C I一致指数の基調判断も「改善」が継続することが予想される。



(出所)内閣府「景気動向指数」

(注)直近の2017年4月は第一生命経済研究所による予測値